

病 態 病 理

[M2-40016X1]

1 ユニットの概要

病態病理では臨床医学を理解するために、各臓器組織の差を超えて共通にみられる病変の原因と病態の基本的概念を習得する。

2 金沢医科大学の到達目標（アウトカム）

- ①患者中心・コミュニケーション・チーム医療
- ②医学知識と技能
- ③豊かな人間性と倫理観
- ④生涯学習
- ⑤地域医療・社会貢献
- ⑥科学的態度・探求心

3 ユニット到達目標（アウトカム）

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 病理学とは何か、病理医の役割を理解し、検査方法の原理を説明できる。(①③④⑤⑥)
- 基本的病変の用語を理解し、形態学的変化と機能的障害との関係を説明できる。(①②⑥)
- 細胞傷害の機序とその修復、炎症、感染症、免疫とその異常、代謝障害、循環障害、染色体・遺伝子および発生の異常、腫瘍の原因と成り立ちを理解し、説明できる (②⑥)

4 学 習 方 法

統合型講義、実習、外部講師による特別教育講義

5 評価

学習成果は次の評価項目を総合して評価する。

評価区分	評価項目	評価の対象	評価割合
形成的評価	実習・レポート	技能・態度	
	小テスト	知識	
	中間試験	知識	
総括的評価	中間試験・ユニット試験	知識	90%
	実習・レポート	技能・態度	10%
合計			100%

(特記事項)

ユニットの単位認定は、授業・実習への出席状況、中間試験・ユニット試験の結果を主として、実習中の態度、レポートなどの結果を加味して最終的に行う。

6 授業スケジュール

別項参照

7 事前事後学修について

各講義内容に合わせて、事前に指定された教科書（標準病理学）の総論と関連する各論の項目及と推薦参考書を読んでおくこと。

事前に提供されるシラバスの資料についても、あらかじめ目を通しておくこと。

【自己学習（事前事後学修）に必要な時間】

1 時限あたり 予習 30 分、復習 30 分

8 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

ユニットの途中の中間試験に関しては、学生からの質問や正解率が低い問題に関し、講義での解説により適宜フィードバックを行う。

実習中ならびにレポート作成時の学生からの質問に対し、個別あるいは必要に応じ全体に解説を提示する。

9 教育担当者

ユニット責任者：清川 悦子（病理学Ⅰ）

教授	山田 壮亮（臨床病理学）
講師	島崎 都（病理学Ⅱ）
	尾山 武（臨床病理学）
	塩谷 晃広（臨床病理学）
助教	星 大輔（病理学Ⅰ）
	熊谷 泉那（病理学Ⅱ）
	韓 佳（臨床病理学）

10 参考図書・文献

購入すべき図書（教科書）

坂本穆彦（監修）、北川昌伸、仁木利郎（編集）：標準病理学，第6版，医学書院

購入するとよい図書（参考書）

- 1) 豊國伸哉、高橋雅英（監訳）：ロビンズ基礎病理学，原書10版，丸善
- 2) 小田義直、坂元亨宇、深山正久、松野吉宏、森永正二郎、森谷卓也（編集）：組織病理アトラス，第6版，文光堂
- 3) 下政宗、長嶋洋治（編集）：正常画像と比べてわかる 病理アトラス，改訂版，羊土社
- 4) 青笹克之 監修：解明病理学 病気のメカニズムを解く，第4版 医歯薬出版
- 5) 渡辺照男 編集：カラーで学べる病理学，第5版 ノーヴェルヒロカワ

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
後	1	10月16日 (月)	3	講義	病理学とは	C-4	病理学 I	清川教授
後	2	10月16日 (月)	4	講義	病理学的検査について	F-2-04)	病理学 I	清川教授
後	3	10月16日 (月)	5	講義	細胞傷害の機序とその修復1	C-4-2)	病理学 I	清川教授
後	4	10月16日 (月)	6	講義	細胞傷害の機序とその修復2	C-4-5)	病理学 I	清川教授
後	5	10月18日 (水)	4	実習	病理組織実習(様々な組織染色)	F-2-04)-①	病理学 I	清川教授, 星助教
後	6	10月18日 (水)	5	実習	病理組織実習(細胞の復習)	F-2-04)-G	病理学 I	清川教授, 星助教
後	7	10月18日 (水)	6	実習	病理組織実習(臓器の復習)	C-4-2)-G	病理学 I	清川教授, 星助教
後	8	10月19日 (木)	1	講義	血行動態の異常, 血栓症およびショック2(止血・凝固・出血1)	D-1-1)⑧	病理学II	島崎講師
後	9	10月19日 (木)	2	講義	血行動態の異常, 血栓症およびショック3(止血・凝固・出血2)	C-1-1)⑧	病理学II	島崎講師
後	10	10月19日 (木)	3	講義	血行動態の異常, 血栓症およびショック4(止血・凝固・出血3)	D-1-1)-(2)①	病理学II	島崎講師
後	11	10月20日 (金)	1	講義	細胞傷害の機序とその修復3	C-4-5)	病理学 I	清川教授
後	12	10月20日 (金)	2	講義	代謝障害1	C-4-3)-G	病理学 I	清川教授
後	13	10月20日 (金)	3	講義	代謝障害2	C-4-3)-G	病理学 I	清川教授
後	14	10月23日 (月)	4	講義	炎症とは	C-4-5)-①	臨床病理学学	山田教授
後	15	10月23日 (月)	5	講義	炎症の過程	C-4-5)-②	臨床病理学学	山田教授
後	16	10月23日 (月)	6	講義	炎症に関与する因子	C-4-5)-②	臨床病理学学	山田教授
後	17	10月25日 (水)	4	実習	病理組織実習(細胞傷害・修復)	C-4-5)	病理学 I	原非常勤講師, 清川教授, 星助教
後	18	10月25日 (水)	5	実習	病理組織実習(適応)	C-4-5)	病理学 I	原非常勤講師, 清川教授, 星助教
後	19	10月25日 (水)	6	実習	病理組織実習(代謝障害)	C-4-3)-G	病理学 I	原非常勤講師, 清川教授, 星助教
後	20	10月26日 (木)	1	講義	腫瘍1(定義)	C-4-6)	病理学 I	清川教授
後	21	10月26日 (木)	2	講義	腫瘍2(分類)	C-4-6)	病理学 I	清川教授
後	22	10月26日 (木)	3	講義	腫瘍3(前癌と境界病変)	C-4-6)-G	病理学 I	清川教授
後	23	10月27日 (金)	1	講義	血行動態の異常, 血栓症およびショック5(血栓症・塞栓症・梗塞1)	C-4-4)②	病理学II	島崎講師
後	24	10月27日 (金)	2	講義	血行動態の異常, 血栓症およびショック6(血栓症・塞栓症・梗塞2)	C-4-4)②	病理学II	島崎講師
後	25	10月27日 (金)	3	講義	環境性疾患1	D-12-4)-(08)	病理学 II	島崎講師
後	26	10月27日 (金)	4	講義	炎症反応と分類	C-4-5)-②	臨床病理学	山田教授
後	27	10月27日 (金)	5	講義	急性炎症	C-4-5)-②	臨床病理学	山田教授
後	28	10月27日 (金)	6	講義	慢性炎症	C-4-5)-②	臨床病理学	山田教授
後	29	10月31日 (火)	1	講義	細菌感染の病理	C-4-5)-③, C-4-5)-G, C-3-2)-(4)-①	臨床病理学	塩谷講師
後	30	10月31日 (火)	2	講義	真菌感染症の病理	C-4-5)-③, C-4-5)-G, C-3-1)-(4)-⑨	臨床病理学	塩谷講師
後	31	10月31日 (火)	3	講義	寄生虫・プリオン病	C-4-5)-③, C-4-5)-G, C-3-2)-(4)-①	臨床病理学	塩谷講師
後	32	10月31日 (火)	4	実習	病理組織実習(炎症と感染症)	E-2-1)	臨床病理学	山田教授, 塩谷講師, 韓助教
後	33	10月31日 (火)	5	実習	病理組織実習(炎症と感染症)	E-2-1)	臨床病理学	山田教授, 塩谷講師, 韓助教
後	34	10月31日 (火)	6	実習	病理組織実習(炎症と感染症)	E-2-1)	臨床病理学	山田教授, 塩谷講師, 韓助教

学期	回数	開講日		時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
後		11月02日	(木)	4	特別講義	特別講義			
後		11月02日	(木)	5	特別講義	特別講義			
後		11月02日	(木)	6	特別講義	特別講義			
後	35	11月06日	(月)	3	講義	腫瘍4(癌の拡がり方・進行度)	C-4-6)	病理学 I	清川教授
後	36	11月06日	(月)	4	講義	感染症の病理診断	C-4-5)-③,C-4-5)-G	臨床病理学	山田教授
後	37	11月06日	(月)	5	講義	ウイルス感染の病理	C-4-5)-③,C-4-5)-G,C-3-2)-(4)-①	臨床病理学	山田教授
後	38	11月06日	(月)	6	講義	感染症の病理診断	C-4-5)-③,C-4-5)-G	臨床病理学	山田教授
後	39	11月07日	(火)	1	講義	腫瘍5(癌の診断と治療・予後)	C-4-6)-③,C-4-6)-④,C-4-6)-⑤	病理学 I	清川教授
後	40	11月07日	(火)	2	講義	特別講義 血管と腫瘍	C-4-6)	病理学 I	北海道大学・榎田京子教授
後	41	11月07日	(火)	3	講義	特別講義 血管と腫瘍	C-4-6)	病理学 I	北海道大学・榎田京子教授
後	42	11月07日	(火)	4	実習	病理組織実習(腫瘍1)	E-3-2)-③	病理学 I	大橋非常勤講師, 星助教, 清川教授
後	43	11月07日	(火)	5	実習	病理組織実習(腫瘍1)	E-3-2)-③	病理学 I	大橋非常勤講師, 星助教, 清川教授
後	44	11月07日	(火)	6	実習	病理組織実習(腫瘍1)	E-3-2)-③	病理学 I	大橋非常勤講師, 星助教, 清川教授
後	45	11月09日	(木)	1	実習	病理組織実習(循環障害)	C-4-4)	病理学II	島崎講師, 熊谷助教
後	46	11月09日	(木)	2	実習	病理組織実習(循環障害)	C-4-4)	病理学II	島崎講師, 熊谷助教
後	47	11月09日	(木)	3	実習	病理組織実習(循環障害)	C-4-4)	病理学II	島崎講師, 熊谷助教
後		11月11日	(土)	1	試験	中間試験			
後		11月11日	(土)	2	試験	中間試験			
後		11月11日	(土)	3	試験	中間試験			
後	48	11月13日	(月)	3	講義	腫瘍6(腫瘍の生物学1)	C-2-3)-(1)	病理学 I	清川教授
後	49	11月13日	(月)	4	講義	環境性疾患2	D-12-4)-(08)	病理学II	島崎講師
後	50	11月13日	(月)	5	講義	免疫の異常1	C-3-2)-(4)	病理学II	島崎講師
後	51	11月13日	(月)	6	講義	免疫の異常2	C-3-2)-(4)	病理学II	島崎講師
後	52	11月14日	(火)	1	実習	病理組織実習(腫瘍2)	E-3-2)-③	病理学 I	福島非常勤講師, 星助教, 清川教授
後	53	11月14日	(火)	2	実習	病理組織実習(腫瘍2)	E-3-2)-③	病理学 I	福島非常勤講師, 星助教, 清川教授
後	54	11月14日	(火)	3	実習	病理組織実習(腫瘍2)	E-3-2)-③	病理学 I	福島非常勤講師, 星助教, 清川教授
後	55	11月14日	(火)	4	講義	免疫の異常3	C-3-2)-(4)	病理学II	島崎講師
後	56	11月14日	(火)	5	講義	免疫の異常4	C-3-2)-(4)	病理学II	島崎講師
後	57	11月14日	(火)	6	講義	血行動態の異常, 血栓症およびショック1(うつ血・水腫)	C-4-4)①	病理学II	熊谷助教
後	58	11月15日	(水)	4	講義	循環障害、臓器不全1	C-4-4)	病理学II	熊谷助教
後	59	11月15日	(水)	5	講義	循環障害、臓器不全2	C-4-4)	病理学II	熊谷助教
後	60	11月15日	(水)	6	講義	循環障害、臓器不全3	C-4-4)	病理学II	島崎講師
後	61	11月16日	(木)	1	講義	血行動態の異常, 血栓症およびショック7(心不全・ショック1)	C-4-4)③	病理学II	熊谷助教
後	62	11月16日	(木)	2	講義	血行動態の異常, 血栓症およびショック8(心不全・ショック2)	C-4-4)④	病理学II	熊谷助教
後	63	11月16日	(木)	3	講義	血行動態の異常, 血栓症およびショック9(心不全・ショック3)	C-4-4)⑤	病理学II	熊谷助教
後	64	11月16日	(木)	4	実習	病理組織実習(循環障害)	C-4-4)	病理学II	島崎講師, 熊谷助教
後	65	11月16日	(木)	5	実習	病理組織実習(免疫の異常)	C-3-(2)-④	病理学II	島崎講師, 熊谷助教
後	66	11月16日	(木)	6	実習	病理組織実習(免疫の異常)	C-3-(2)-④	病理学II	島崎講師, 熊谷助教
後	67	11月17日	(金)	4	講義	腫瘍7(腫瘍の生物学2)	C-2-3)-(1)-②	病理学 I	清川教授
後	68	11月17日	(金)	5	講義	腫瘍8(腫瘍の生物学3)	C-2-3)-(1)-③	病理学 I	清川教授
後	69	11月17日	(金)	6	講義	腫瘍9(腫瘍の生物学4)	C-4-6)-②	病理学 I	清川教授

学期	回数	開講日		時限	区分	講義・実習内容	コアカリ項目	講座名	教員名
後	70	11月20日	(月)	3	講義	腫瘍10(化学発癌)	C-4-6)-G	病理学 I	清川教授
後	71	11月20日	(月)	4	講義	遺伝性疾患及び小児疾患1(小児がん)	C-1-1)-(2)-①	臨床病理学	塩谷講師
後	72	11月20日	(月)	5	講義	遺伝性疾患及び小児疾患2(遺伝子病)	C-1-1)-(2)-①	臨床病理学	塩谷講師
後	73	11月20日	(月)	6	講義	遺伝性疾患及び小児疾患3(先天異常)	C-1-1)-(2)-②	臨床病理学	塩谷講師
後	74	11月24日	(金)	1	講義	未定		臨床病理学	山田教授
後	75	11月24日	(金)	2	講義	未定		臨床病理学	山田教授
後	76	11月24日	(金)	3	講義	未定		臨床病理学	山田教授
後	77	11月27日	(月)	4	実習	病理組織実習(遺伝性疾患,小児疾患)	C-1-1)-(2)-②	臨床病理学	山田教授,塩谷講師,韓助教
後	78	11月27日	(月)	5	実習	病理組織実習(遺伝性疾患,小児疾患)	E-4-G	臨床病理学	山田教授,塩谷講師,韓助教
後	79	11月27日	(月)	6	実習	病理組織実習(遺伝性疾患,小児疾患)	E-4-G	臨床病理学	山田教授,塩谷講師,韓佳教
後	80	11月28日	(火)	1	講義	腫瘍11(信号伝達の基礎)	C-2-3)-(1)	病理学 I	平田非常勤講師
後	81	11月28日	(火)	2	講義	腫瘍12(がん分子標的治療)	E-3-3)-④	病理学 I	平田非常勤講師
後	82	11月28日	(火)	3	講義	腫瘍13(がん免疫療法)	C-3-2)-(4)-⑤	病理学 I	平田非常勤講師
後	83	11月28日	(火)	4	講義	腫瘍14(ウイルス発癌)	E-2-4)	病理学 I	清川教授
後	84	11月28日	(火)	5	講義	腫瘍15(癌遺伝子)	C-4-6)-②	病理学 I	清川教授
後	85	11月28日	(火)	6	講義	腫瘍16(癌抑制遺伝子)	C-4-6)-②	病理学 I	清川教授
後	86	11月29日	(水)	1	実習	病理組織実習(腫瘍3)	E-3-2)-③	病理学 I	星助教,清川教授
後	87	11月29日	(水)	2	実習	病理組織実習(腫瘍3)	E-3-2)-③	病理学 I	星助教,清川教授
後	88	11月29日	(水)	3	実習	病理組織実習(腫瘍3)	E-3-2)-③	病理学 I	星助教,清川教授
後	89	11月29日	(水)	4	講義	腫瘍17(腫瘍の疫学)	B-1-4)	病理学 I	清川教授
後		11月29日	(水)	5	特別講義	特別講義			
後		11月29日	(水)	6	特別講義	特別講義			
後	90	11月30日	(木)	1	講義	未定		臨床病理学	山田教授
後	91	11月30日	(木)	2	講義	未定		臨床病理学	山田教授
後	92	11月30日	(木)	3	特別講義	特別講義			
後		11月30日	(木)	4	特別講義	特別講義			
後		11月30日	(木)	5	特別講義	特別講義			
後		11月30日	(木)	6	特別講義	特別講義			
後		12月01日	(金)	1	特別講義	特別講義			
後		12月01日	(金)	2	特別講義	特別講義			
後		12月01日	(金)	3	特別講義	特別講義			
後		12月02日	(土)	1	試験	本試験			
後		12月02日	(土)	2	試験	本試験			
後		12月02日	(土)	3	試験	本試験			